

TOYO

TOYO UNIVERSITY  
ALUMNI ASSOCIATION  
KAGOSHIMA 2009



東洋大学校友会 鹿児島県支部創立

# 90周年記念

平成21年度版 支部会報 **特別版**

豪華3大企画 Vol.4



写真は語る～豪華6ページ版  
設営～講演会～9月特別総会～懇親会風景


鹿児島県支部創立  
90周年特別企画

実録・佐藤 尚コーチ講演会



感謝への道のり

栄光の箱根駅伝初優勝。陸上部佐藤コーチの講演記事

シリーズ企画  [クロスアップ 校友会員 波瀾万丈]  
～橋口会員に支部長が対談&インタビュー～



# 90周年記念

東洋大学校友会鹿児島県支部創立90周年に寄せて



鹿児島県支部長  
岩城 健

支部創立90周年記念事業を9月6日に多くの校友、甫水会の皆様のご協力とご支援により開催できましたことに感謝とお礼を申し上げます。

今回の記念事業にあたり菅沼校友会長、池田甫水会鹿児島県支部長のお二人のご出席、先の箱根駅伝で総合優勝の立役者である佐藤コーチを講師としてお招きしての90周年特別講演会も開催出来ました。

鹿児島県支部は、大正8年に創立され全国61支部の中でも4番目に創立された歴史と伝統に輝く支部であります。歴代支部長6名による母校愛と支部活動に対する並々ならぬ努力が今日まで脈々と受け継がれて参りました。また、鹿児島県支部は南北600キロ、25の離島を抱え全国一広範囲にわたる支部と言えます。現在の支部校友は540名、うち離島校友は100名を数えます。離島校友の総会出席は厳しい状況にありますが、それでも毎年開催します総会、懇親会には多くの出席者を数え活気あふれる支部活動を展開しています。

今回の90周年記念事業が開催できましたことは、支部役員をはじめ校友一人一人の支部活動に対するご理解と協力のたまものと感謝申し上げます。これから10年後の100周年に向けて新たな歴史を刻んで参りたいと思っています。校友の皆さまの更なるご協力をお願い申し上げます。



東洋大学校友会 会長  
菅沼 晃氏

東洋大学校友会鹿児島県支部創立90周年おめでとうございます。また、この喜ばしい記念の式典に出席し、本会を代表してご挨拶できましたこと、大変幸せに存じます。

昨年、本部において一つの話目が注目されました。それは各地支部が作られる支部会報の中で、支部総会参加者の写真が前面に躍り出るようにして、全ページカラー、しかも折りたたみ式を加えた鹿児島県の支部会報第3号の好企画。情報発信の重要さが叫ばれる今日、大正8年創設以来90年、当支部の活動が、ますます熱いマグマの吹き出る活火山のように、その意気込みが伝わり、大変感動させられました。

90周年記念の行事では、箱根駅伝に活躍した佐藤尚コーチを招き、講演会が開かれましたが、地元高校の各駅伝部監督や高校生を招き、さらに市民の皆さんも入場し、150名を超える聴衆を迎え、参加した人々に大きな感動を与えてくださいました。こうした意義深い企画こそ、校友会活動が地域に支えられている証であります。東洋大学を卒業して同窓の方々同士、いろいろな会合をもたれていることと思います。同期会、サークルを同じにする会など多岐にわたりますが、各地方、地方において学年、学科を越え、同じ思いを大学に寄せる、こうした活動こそ、明らかに、校友会本来の存在意義を示すものであると大変心つく感じた次第であります。支部創設90周年を讃え、会員の皆様の益々の弥栄を祈念申し上げます。



集合写真撮影・西村正一郎





**写真は語る~90周年記念総会**  
 平成21年度 支部総会・懇親会及び佐藤コーチ講演会を敬天閣にて開催

みな様、お便りありがとうございました。  
 おかげさまで、90周年支部総会を無事終えることが  
 出来ました。これも校友のみな様のおかげです。  
 今回は、佐藤コーチの講演、菅沼校友会長の  
 近況報告、そして大いに盛り上げた懇親会の様子を  
 写真でお届けいたします。  
 より一層の校友の活躍や交流を期待していり、  
 幹事長 西村正一郎

- 鹿児島高校
- 鹿児島商業高校
- 鹿児島城西高校
- 鹿児島大学
- 樟南高校









**参加者  
大募集**

## アナタも交流の輪を広げませんか？

- 卒業後ずっと会報は封筒に入ったままでゴミ箱直行だった...
- ほとんど会費を払ったことが無い...とか
- まだ一度も参加したことが無い、今更行ってもなあと不安...
- 先輩・後輩の上下関係とか堅苦しそう...とか
- 10年以上前に一回だけ参加したけど、それ以来行ってない...
- 知ってる人が誰も居ない...とか

**→ そんな心配は無用です。まずは支部總會にご参加ください。**

写真をご覧いただいてお分りのように東洋大学校友会・鹿児島県支部總會は「楽しい集まりの場・新たな出会いの場」です。これをキッカケに新たにお友達を増やしたり、異業種交流の場としてご自由に利用してください。もししたらアナタより年配者が多いかも知れませんが、先輩・後輩等の厳しい上下関係など一切ありません。遠慮せずとどどん話しかけてみてください。みんな見かけと違い心の中は「素直にバカになれた大学時代」の頃と同様の気持ちで参加しています。みんなで集まって楽しい時間を過ごしましょう。

支部總會は毎年9月第一土曜日開催。参加者大募集!! お気軽に支部事務局までご連絡ください。  
 ☎099-267-4302, 090-4358-1947(事務局・西村) 繋がらない時は E-mail: deesaku@me.com(事務補佐・西元)





鹿児島県支部創立90周年並びに箱根駅伝優勝を祝して

# 会員からのメッセージ

**奥村 司** 昭和35年 文学部卒



校友会鹿児島県支部創立90周年おめでとうございます。まずは、90年間継続して来られた、役員の方々ならびに会員の先輩諸氏に敬意を表します。

私が初めて支部総会に参加したのは卒業後、教職について間もない頃でした。昭和30年代後半だったと思っています。秋丸支部長さんの時でしたので、もうかれこれ50年近くになります。

その後、勤務の都合で支部総会には欠席することもありますが、校友会費納入だけは続けて参りました。東洋大学は、私の人生の原点であり私の生きる糧を培った所だからです。

もし、あのとき東洋大学を受験していなければ、現在の自分はどうなっていたらうかと考えると、年一回の校友会費ぐらい安いものです。こんな気持ちで退職後は、ますます強くなり毎年の支部総会へ参加しています。

今後、100周年に向けて楽しく誰にでも気軽に参加できる支部づくりを祈念し、お祝いの言葉とします。

**谷川 正史** 昭和41年 経済学部卒



校友会鹿児島県支部創立90周年おめでとうございました。私が卒業した頃は、校友会の存在を知りませんでした。当時、現支部長の岩城さんと天文館で偶然お会いし「谷川さん、同窓会でやりましょうか」と声をかけられたことを思い出します。県内の若手卒業生7名で会を発足しました。懇親会や指宿、霧島への宿泊旅行、互いの結婚式に参列など親交を深めました。その後、現在の校友会と合流。最近の会は内容も変化し、9月の第一土曜日という定例化された総会、大学側の来賓参加、懇親会、学生の保護者の参加や忘年会、新年会などの親睦会、写真を多載した支部会報の作成や、支部長を中心に幹事の方々の親身な心遣いなどに大変感謝しているところです。この様に校友会の発展と共に近年の大学の活躍は素晴らしいものがあります。サークル活動、教育環境の充実した整備、安定した学生数、大学全体の各方面での活躍等、卒業生として誇りと勇気と自信をもらいました。90周年を機に鹿児島県支部が益々発展されることを祈念いたします。

**京田 秀允** 昭和43年 経済学部卒



「歴史と伝統は、けっして一朝一夕にうまれるものではない」という話を覚えている。

支部創立90周年という年輪に刻み込まれた歴史と伝統を想うとき、これまで校友会発展のためご尽力いただいた歴代支部長をはじめ先輩各位の熱いエネルギーと年月の重さを感じる。昨今、大学を取り巻く環境や校友の意識も多様化しており、全国支部長からの提言(校友会報241号)にあるように各県支部とも活動、運営等に様々な課題を抱えながら活性化への取り組みがなされている。本県においても支部長をはじめとして真摯な努力がなされており一校友として敬意を表したい。

在職中は先輩・同僚になにかとお世話になり定年退職後、改めて校友会の絆に感謝している。次の節目となる95周年、100周年に向け母校の隆盛と校友会鹿児島県支部の益々の発展を願ってやみません。

**下尾 恵美子** 昭和54年 文学部卒



支部創立90周年をお祝い申し上げます。日本の大学教育は国立大学と同時に、私学が独自の建学の精神に基づき、それぞれ素晴らしい発展と功績をあげているのが実情です。中でも、我が東洋大学は近年すばらしい実績をあげていることを卒業生として誇りに思います。お正月恒例の箱根駅伝の優勝、出雲駅伝、全日本大学駅伝等の活躍、全日本大学野球大会の全国制覇と「血は水より濃い」の言葉通り、私たちは熱狂の応援をいたしました。母校と鹿児島県支部の益々の発展をお祈りいたします。

# 通信欄より

鹿児島県支部事務局は本年7月に支部総会・懇親会の案内を告知した往復ハガキを校友会員に向け出しました。その返信ハガキの通信欄には数多くの心温まるメッセージが書かれていました。寄せられたメッセージをここに掲載いたします。ありがとうございました。

- 箱根駅伝優勝「おめでとう」が全ての面で母校発展の為の原点につくべきチャンスを与えてくれたと思う。学校経営陣(OB含む)や教授の質を向上させることより、生徒はおのずと優秀な人が集ってきます。近況〜H21年度町内会長及び住金物産系列の会社の役員に就任、月3回程度出版社 岩戸一彦(S41)
- 残暑きびしい季節ですが、私も事業を止め今は趣味の写真にこっている今日この頃です。校友の皆様方それぞれご活躍の事と存じます。私も長らく会出席欠場致しております。今回ひきかたばりに出席しようと思いましたが、早くからはいつか日程の都合上どうしても出来なくなり今回もやむなく欠席させていただきます。校友会が益々御発展される事をお祈りしております。遅れて申し分けありません。 出水稔二(S41)

- 21年の夜明。箱根駅伝の優勝という快挙は私に元気をくれました。後輩達の努力のおかげに感謝!! 森田修一(S38)
- 歴史に伝統ある箱根駅伝において見事初優勝の快挙を成し得た東洋大学の活躍に校友の一人として心から声援を送ると共に皆さんと感動を分かちあいたいと思います。お世話役ご苦労様です。 渋谷俊彦(S42)
- 盛会を祈念します。 菊浦紀明(S40)
- 遅くなって申し訳ありません。盛会を祈ります。 有村孝一郎(S49)
- 箱根駅伝優勝で母校がクローズアップされ誇りに思いました。 福森純親(S54)

- 90周年おめでとうございます。箱根駅伝も優勝したし、これからの母校の益々の発展を心より期待しております。 西元大作(S60)
- あの感動を再び!箱根駅伝2連覇に向け校友会員ごぞつて応援しましょう。4月に異動になり、校友会のお手伝いができなくて申し訳なく感じております。6日は、特別講演会を楽しみにしています。 松永幹太(S53)
- 仕事の都合上調整しておりました。連絡遅くなり申し訳ございません。総会〜懇親会を楽しみにしております。宜しくお願い致します。 池田 道(S63)
- お疲れ様です。いつも案内ありがとうございます。当日を楽しみにしております。 時任雅彦(S60)

※「通信欄より」のメッセージ内容は2009年7〜8月の時点でのものです。会員の各々の現状とは違ってきている場合もあることをお断りします。

- お世話になります。当日が楽しみですね。 福山厚裕(S63)
- 案内ありがとうございます。宜しくお願いします。 京田秀允(S43)
- 駅伝、野球等めざましい母校の活躍振りに感動しています。支部大会の出席を楽しみにしていましたが、他用のため欠席残念です。御盛会を祈ります。皆様よろしく。 橋口 茂(S31)
- 校友会報・学報の駅伝記事「魂の走り」を暗記する程読んで、自分と先輩後輩の価値観が同じに気づき安心しました。山元選手の一言も言い訳しない潔さ、しっかり襪をつけないで強さ、ゴールに向かって一礼等々 優勝したこと以上に端々のことに感動しましたし、誇りに感じました。気づかないけれど「東洋大気質」も確かに在るんですね。いつも同窓会のご案内をありがとうございます。体調がまだ不安定なので昼の部だけ参加させていただきます。 松岡洋子(S52)
- 母校の在校生の活躍、発展を新聞、会報等で知らされており、楽しみにしていますと、ともに、とても誇りに思っております。小学生体調が思わしくなく歩行苦渋しております。毎度同窓会に出席できず申し訳ありません。体調が回復しましたら来年は出席しようと思っています。 小園八千郎(S47)
- ご苦労様です。何かと気苦労も多からうと存じますが、校友会さらなる発展のために御尽力下さいませ。総会・懇親会の盛会を祈念申し上げます。 中島好哉(S55)
- 柏原の走りに感動致しました。酒屋ですので金・土・日は残念ながら参加できません。 杉元英三郎(S60)
- 箱根駅伝、完全優勝をお慶び申し上げます。このたびの総会懇親会のご盛会を祈ります。 永田健一郎(S36)
- 鹿児島県支部創立九十周年の記念節目の年に参加できずに残念です。皆様によりよくお伝え下さい盛会をお祈りしています。 下川清弘(S42)
- 欠会ばかりで申し分けございません。(体調不良のため)校友会のますますのご繁栄を祈っております。 中山栄一郎(S38)
- 後輩の皆様方のご活躍にいつもほほえましく嬉しく拝見しております。栄えある90周年。おめでとうございます。何かの行事にも出席いたしたいのですが、夫が6年前事故にあい、今も通院中です。故に残念ながら参加できません。事務局皆様方のご尽力に感謝申し上げます。ご盛会をお祈り申し上げます。 新恵三枝子(S29)
- 楽しみにしていたのですが、結婚式が先に入っております。誠に申し訳ございません。ご盛会祈ります。 大橋紘一(S42)
- 誠に申し分けありませんが、当日アメフトの試合の為出席出来ません。皆様によりよくお伝え下さいませ。 柴田哲哉(S54)
- 来年こそは出席出来ますよう頑張ります。 能塩祐考(S51)

- 議会等の準備で欠会させていただきます。沖永良部在住の卒業生(7名)で年2〜3回集まっています。 栄信一郎(S53)
- 箱根駅伝、41年間、ラジオ、テレビ座敷で応援続けてきました。今年は家族で総合優勝を味わいました。本当にうれしかったです。来年も優勝目指してがんばって欲しいと思います。会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。 波江野満(S43)
- ご案内ありがとうございます。(申し訳ありませんが行事が重なり不参加)東洋大学各部活の報道には関心を持って観ております。校友会創立90周年を心からお祝い申し上げます。母校とともに更に充実発展を祈念申し上げます。 平川久嘉(S46)
- 今年は9月の第1週に義母の法事、人間ドック検診があり、欠会させていただきます。尚、今年4月に工学部機械42年卒の同窓会があり、級友と一夜を共にし、工学部のキャンパスと学生のキャンパスライフの変ぼうぶりを見てきました。 中村清徳(S42)
- 最近の東洋大の活躍で自分の励みにもなっています。 月野木哲也(H7)
- 健康上の都合で出会できなくて残念に思います。皆様によりよくお伝え下さい。来年は出席できると思います。失礼いたします。 松元イノ子(S39)
- いつもお世話になっています。本年は残念ですが欠席させていただきます。盛会を祈念致します。 田中 勢(S39)
- 今年は行事が重なりどうしても出席できません。お許し下さい。 佐藤隆文(S46)
- 90周年おめでとうございます。そして、箱根駅伝優勝おめでとうございます。“感動”をありがとうございます。ますますの活躍を楽しみにしています。私も社会人1年生として頑張っています。 山下春樹(H21)
- 毎年期待しておりました善き日がきました。本当に感動しました。今後の活躍を祈念致しますと共に校友会の盛会と益々の発展をお祈り申し上げ、出席出来ませんことを、お願い致します。 弥勒康幸(S32)
- すみません。都合により来年こそは出席したいです。東洋大学の箱根完全優勝は真に嬉しかったです。私も弓道部員でしたので、体育会に席を置いたものとして晴ればれとします。 福島敏行(S58)
- 旅行中のため今回は残念ながら欠席となります。御盛会を祈願いたします。 松田浩明(S38)
- 申し訳ありませんがバスケットボールの試合がある為、欠席させていただきます。 友岡善信(H18)
- 9/6は所用の為、出会出来ません。校友の皆様方のご清祥を心からお祈りしております。 森 利彌(S46)

- 90周年の箱根駅伝は、最初から素晴らしいデットヒートはテレビで見ている思いに残るものでした。今後も頑張っって又優勝してもらいたい。 吉森純昭(S38)
- 佐藤コーチへ、二連覇への期待でプレッシャーがかかることでしょうか、平常心で頑張ってください。幹事の皆さんへ、胸がわくわくするような同窓会の企画誠にありがとうございます。当日を楽しみにしております。 奥村 司(S35)
- 支部創立90周年、箱根駅伝の優勝と記念すべき年になりそうです。90周年の講演企画等で多大なご尽力をたまわり有難うございます。 岩城 健(S40)
- 本支部創立90周年を迎え全国に誇る総会になったことに役員各位の尽力に感謝敬意申し上げます。 村松 勇(S34)
- 暑中お見舞い申し上げます。遅くなつてすみません。いつも校友の為に御尽力頂き感謝致します!!毎年楽しみにしています。又お遣いできる方々が元気で大勢参加される事を願います。御自愛下さいませ。 野村涼子(S45)
- 今年はみな様のお顔を見に行きたいと思っています。皆様に会えるのを楽しみにしています。 小梅牧照家(H14)
- 毎年、箱根駅伝はテレビで母校の応援をしています。箱根駅伝の総合優勝、野球部の5連覇等の活躍はいつも私に勇気と活力を与えてくれます。特に箱根駅伝の優勝は、感動そのものでした。 瀬戸 繁(S53)
- 毎日色々ご苦労様です。私もお蔭様で大部元気になりました。先日卒業生評議員選挙事務所より書信があり箱根駅伝の完全優勝の感動を書いて提出しました。東洋大学平成24年(2012)年創立125周年には出席します。愛妻と共に20周年は出席しました。 桐原正吾(S20)
- 毎回ご苦労様です。再会楽しみにしています。 東牧明英(S42)
- いつもお世話になっております。よろしく申し上げます。 岩本宏之(S43)

※「通信欄より」のメッセージ内容は2009年7〜8月の時点でのものです。会員の各々の現状とは違ってきている場合があることをお断りします。



# 感謝への道のり

2009年正月、第85回を迎えた箱根駅伝。東洋大学は1933年の初出場から77年目にして、史上通算15校目の「往復路完全総合優勝」という快挙を成し遂げた。同年9月6日、鹿児島県支部総会では、栄光へと導いた監督代行の佐藤 尚コーチによる特別講演が開催された。このルポはコーチの許可を得、特別講演の録音を元に加筆したものである。駅伝史に残るドラマの裏側と、鉄紺のタスキに魂を刻ませた「師の教え」を会員の方々に是非、読んでいただきたい。



「我が校にとっても、  
駅伝主催者側にも  
青天の霹靂・稀有な出来事でした」

駅伝開催を間近に控えた12月1日、部員すでに退部処分による不祥事が発覚、事件の大きさは学内外問わず、連日マスコミの矢表に上げられ、佐藤も対応で合宿所へ泊り込むまでに至った。

事件から五日、選手を集めた毎晩のミーティングでは「今回の教訓と反省に加えて、走らせて頂く感謝の念を説いて、選手一人ひとりの心に刻ませた」と切々と語った。だが混沌とした気持ちの選手達、登録人数16名のうち、練習参加者は僅かに9名しか姿をみせない。駅伝スタートまで残り18日。

## 正月の10日前

ようやく選手全員の顔が揃う。これを機に佐藤は、指導者として箱根を闘う気持ちに切り替えさせると同時に、再度出場させて頂く感謝の念を選手に植えつけ、残りの10日間に賭けてみた。ところが：

「実は、明日スタートの東京へ移動するという前の晩になって、選手の一人が「走れませんか」と云ってきたのです。移動日の前日です！：正直な話：弱りましたが、なんとか宿まで連れていきました。そして東京駅の近くで「なんでもいから、好きなモノ食べたいよ」と半ば強引に食べさせました。たぶん食べさせたら「走ります」となりました。本来なら試合前なので食事を制限しないといけないのですが、この場合もうも言っておれません。選手も必死なら私も必死、もう何でもアリでしたな。」

1月2日 遂に駅伝当日の朝を迎えた。この時佐藤の脳裏には、優勝の二文字はなく、せめてシード権の確保、10位以内が監督代行としての責任と考えていた。「長距離ランナーの充実したコンディションというのは、年に僅か二回程しか巡ってこないんですね。この数日間の練習で、あの箱根を走破すること事態、身体的精神的両面を考慮しても、尋常ではないと思っていました。とにかく彼らに賭けてみました。」と心境を口にした。そんな佐藤の心配をよそに、85回目の火蓋は切つて落とされた。

## 第一日目 往路を振り返り

●二区／四年生 若松儀裕  
東京大手町〜鶴見中継所  
間／21.4 km

「前半には、実績のある選手を揃えたのです。スピードのある若松は、故障のため秋のレースには出られませんでした。が、なんとか四年生の意地をみせてくれて、トップと18秒差の八位で、襷を伝えてくれましたね。」

●二区／四年生 山本浩之  
鶴見中継所〜横浜駅前〜戸塚中継所間／23.2 km

「花の二区ですね。各校ともエースを出場させるところに、私も準エース級を持ってきましたが、なんとも足が進まない。後ろの管理車から見ても、明らかにいつもの走りではないんです。3日前まで異常はなかったのですが、みるみる落ちるところまで落ちて行った。2日後にわかったんですが、あの時山本は疲労骨折していたのです。」

●三区／四年生 大西智也  
戸塚中継所〜湘南海岸〜平塚中継所間／21.5 km

当初、花の二区を予定したエース。大会直前に腎部の痛みが出たため、三区へまわったが、結果的に区間記録三位という、好タイムの六人抜きで、五つ順位を上げる激走をみせた。

●四区／一年生 宇野博之  
平塚中継所〜大磯〜小田原中継所間／18.5 km

「彼は、ウチで一番モノがいい選手ですが、20日前まではようやく歩ける状態で、10日前にやっと動き出して、1週間前に「走ります」と云ってきた選手でした。案の定練習していませんから、体は軽く走る。途中ペースを抑えるように、指示はしましたが、とにかく進んでいきましたね。四位まで上がってはいけませんが、小田原市内へ入った途端、正常に走れなくなりました。」

●五区／一年生 柏原竜二  
小田原中継所〜往路ゴール 芦ノ湖間／23.4 km

「彼が高校二年生の時に、私が見つけた選手でした。他校の走者に有名選手がいる中、高校時代の彼は、まったくの無名で

抑えて勝つレースに徹してくれました。ゴール近くになると、沿道のビル風が凄いですね。天候の急激な変化や、シード権を巡る攻防で、アクシデントが起きやすい場所です。優勝間もない状況下になり、選手たちから「ケータイへ」(胴上げしたい)とメールが入りました。優勝は嬉しかったのですが、出場させて頂いたところの感謝のほうが強くて、「それだけは、ヤメ口」と。

「レース後選手へのインタビューで「感謝したい」と選手の口から発せられた時には、指導者として本心に、心から嬉しかったですね。それと選手全員が走ってきた道へ、一礼した行為。あれは私の指示ではありません、選手たちが自発的にやったものです。これが「東洋大学らしさ」の象徴でしたね。決して走りのエリートでもない選手たちは、走るフォームも荒削り、どこにでもいる「石ころ」のような存在ですが、積み重ねの日常を、証明してくれた駅伝でした。これから箱根を目指してみたいという若い方々、是非ともこれを心にとめて頂き、東洋大学へおこし下さい。今日は、ありがとうございました。」

駅伝とはただ走り抜けて、母校の襷を手渡すだけのものではない。襷に込められた縦糸に師の教えがあり、横糸に友との絆を紡ぎ、感謝を契る想いがある。東洋大学創始者井上円了が伝えたかった、「人になる」物語は生まれたのだ。

## 第二日目 復路を振り返り

●六区／二年生 富永 光  
山下りの芦ノ湖〜小田原中継所間／20.8 km

「秘策とは、定石であればキャプテンの大西樹でしたが、足に不安を抱えた大西に変えて、極めて冷静に走るタイプの富永を起用しました。二位と20秒差で、山を下る走りを二年生の彼に賭けてみたくです。キャプテンである大西は、走りたかったでしょうが、交代を告げた後、走る前の富永を、懸命にサポートする大西の姿を見て、「これは間違いなく勝てるな」と直感しました。富永には「必ず抜かれるから、その後抜き返せ」と指示したら、本当にその通りに、何度もやつてのけたのは、我ながら驚きました。」



●七区／四年生 飛坂篤  
小田原中継所〜大磯〜平塚中継所間／21.3 km

「富永から受けた襷は、早大の二年生西脇工業出身の、八木勇樹がハイペースで走り、飛坂との差を二気に広げ、一分以上になりましたが、後半必ずこのツケはくるから、彼にはゆっくり入らせたところ、12秒差まで猛追して、見事区間賞の走りをしてくれました。」

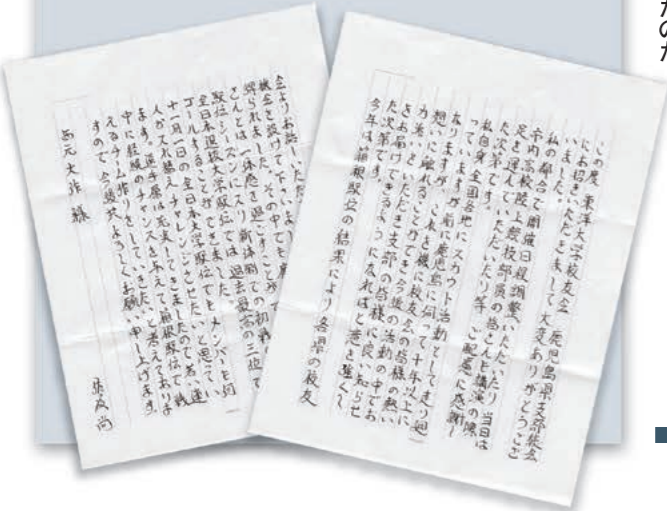
●八区／二年生 千葉 優  
平塚中継所〜湘南海岸〜戸塚中継所間／21.5 km

「東洋大は無名の選手が多いですね。早大とかは、走りのエリート集団で、シナリオ通りの走りなんです。状況に応じた走りができるのは、石ころ集団で臨機応変の走りができま

## 佐藤 尚コーチからのお手紙

この度 東洋大学校友会 鹿児島県支部総会にお招きいただきまして大変ありがとうございます。私の都合で開催日程調整いただいたり、当日は市内高校陸上競技部員の皆さんも講演の際足を運んでいただいたり等、ご配慮に感謝した次第です。私自身全国各地にスカウト活動として走り廻っていますが、前に鹿児島に伺つて十年以上になりますが、これを機に校友会の皆様の熱い想いに触れることができ、今後の活動の中でお力添えをいただき、支部の皆様の良い知らせをお届けできるようにできればと意を強くした次第です。

の校友会よりお話しいただき、皆様に喜んでいただく機会を設けて下さいます。交流の場が多く得られました。その中でも鹿児島県支部の皆さんとは、体感を過ごすことができました。駅伝シーズンに入り新体制での初戦の出雲全日本選抜大学駅伝では過去最高の三位でゴールすることが出来ました。十一月二日の全日本大学駅伝でもメンバーを何人か入れ替えチャレンジさせたいと思っています。選手層は充実してきましたので若し連中に経験のチャンスを与えて箱根駅伝で戦えるチーム作りをしていきたいと考えておりますので今後共よろしくお願ひ申し上げます。



本学白山校舎正門内にある箱根駅伝初優勝讃歌の石碑  
作詩・東洋大学名誉教授 郡山直志先生(鹿児島出身)  
記念碑の岩は新潟県山古志のもの。



# 波瀾万丈

## 中華料理に人生を賭け 頂点と奈落を見た 男の不撓不屈の道

### クローズアップ・橋口正紀会員

インタビュー：岩城 健 / 文章：ぐそくかずし / 写真：デザイン 西元大作

東洋大学・卒業生の人生の軌跡をたどるシリーズ「波瀾万丈」。

第二回は昭和41年経済学部卒の橋口正紀会員です。橋口さんは常に前向きで、学ぶ姿勢を持ち続ける努力の人です。高校卒業後、東京で会社勤めを経た後、改めて大学進学を決意。予備校に通い、念願の東洋大学へ入学しました。



卒業一年後、鹿児島へ戻り、中華料理一筋の人生をスタート。昭和40年代後半、華やかになりし頃の天文館で中華料理店「百華苑」は、大変繁盛しました。秋の海風漂う指宿市山川に、橋口さんのお店「香花園」で波瀾に満ちた生い立ちを伺ってきました。



はしぐち まさのり

## 橋口正紀

### プロフィール

- 昭和37年 本校経済学部入学
- 昭和41年 本校卒業
- 昭和41年 東邦産業入社
- 42年 天文館にて百華苑を経営
- 64年 百華苑をタカブラ裏に移転
- 平成 3年 明和団地にて開業
- 5年 川内市内の会館の厨房に勤務
- 8年 指宿市山川に「香花園」開業
- 21年 11月「香花園」閉店



### 社会に出て「向学心」を学ぶ

**岩城** 東洋大学へ入られた動機をお聞かせ下さい。

**橋口** 鹿児島実業高校を卒業して二年間会社務めを経験しましたが「やはり大学を出ていなければいけない」と考えて、予備校へ通った後受験しました。進路先は、母校の伊勢校長(元支部長)に相談したところ「大学なら東洋大学へ行きなさい」と言われた言葉が脳裏に残っていたのと、友人も入学していましたので、決めました。

**岩城** 大学時代は如何でしたか。

**橋口** 兄が、成城学園と下北沢に中華料理店を経営していましたので、そこを手伝いながら大学四年間を過ごしました。いま思えば、そこでの経験が、この道に入ったきっかけです。

**岩城** 大学卒業後は、どうされましたか。

**橋口** 建設機械の会社に一年勤めました。その間、兄が東京を引き上げて、鹿児島島の「林田ホテル」の地下で開業しました。この時、私はまだ東京に居て、結婚



し、女房は身重だったんです。

**岩城** 天文館の立花通りに「百華苑」の店舗を移されたいきさつは？

**橋口** 林田ホテルのビル建て替えて、店を立花通りへ移すことになりました。この直後兄からの要請で、湯之元でドライブインを開業するから、百華苑を継いで欲しいと相談があり、帰鹿しました。

### 栄華を極めた天文館時代

**岩城** あの頃の百華苑の来客数は凄かったですね。私も当時よくお店に行っていたのですが、昼夜、何時行ってもお客様で満杯でした。行く度に奥の厨房で餃子を作る橋口さんの姿がありました。私に気付くと、どんなに忙しくても笑顔で手をふってくださいました。

**橋口** そうでしたかね(笑)。あの頃は本当に忙しかったですね。当時、餃子を日に1000個、毎日のように手作りしていました。キャバレー太郎エンパイア、オペラハウスと、昭和45年頃から10年間は、天文館全盛期で、店も大いに賑わっていたね(笑)。

**岩城** 大繁盛だった百華苑時代、従業員の方も相当おられましたね。

**橋口** 十数名いましたが、それでも足りないくらい忙しかったです。また、校友会の会合や先輩・後輩の方々にも幾度も利用していたとき、本当にお世話になりました。毎年春と秋の慰安旅行は「節税も兼ねて」香港に行きました。

### 波高く、船の舵をとられる

**岩城** そんなに繁盛されていたお店が「タカブラ」の裏へ移転されたのは、どう

してですか。

**橋口** 立花通りの店が、地域開発の地上げにあつて、立ち退きになってしまったんです。それでタカブラ裏にお店を構えたんですが、事情があつて豪華にせざるを得なかった。それが原因で客足が遠のいてしまいました。また、それまで十万円だった家賃が、五十万円にまで跳ね上がったんです。家賃を料理の値段に転嫁する訳にもいかず、経営は悪化。

二十年間頑張り続けてきた百華苑でしたが、移転後二年もしないうちに友人に譲渡しました。

**岩城** 確かに移転後の豪華になった百華苑は格調高い感じで、以前のような普段着草履履きで入れる雰囲気ではなかったですね。それで、お店を閉めた後は、どうされたのですか。

**橋口** 当時の住まいが明和団地でしたので、近くに店舗を借りて中華料理店を五年程やりました。

実は明和団地の住まいではトラブルがあったのです。購入するとき売主の二重売買で暴力団にも売っていたんです。それで購入の後もその暴力団が自宅の庭先に小屋を建てて居座るといふ事態になり、大変な目にあいました。

### 身内の保証人になって…

**岩城** 明和団地の後は、どうされたのですか。

**橋口** それからが、私の波瀾万丈物語の始まりです。家・屋敷を抵当にし

昭和47年(1972年)20代半ばの頃の校友と。校友下唐湊さんの結婚披露宴の時のスナップ。左から谷川正史、橋口正紀、久保三志、高倉久夫、岩城健支部長。背後に桜島が見えるが、この頃から桜島の火山活動が活発化し、以後20年にわたり火山活動が続く。  
●写真提供 / 下唐湊秀夫氏







昭和40年代半ばの支部総会集合写真(割烹吾妻庵)

3列目左より～東牧明英、岡元孝雄、名称不明、松下健一、名称不明  
2列目左より～谷川正史、赤尾澄弘(故人)、森 利弥、名称不明、高口 稔、有馬泰祐、田島建夫(立姿)  
1列目左より～奥村 司、岩城 健(支部長)、吉河俊市(故人)、秋丸光良(故人・元支部長)、馬場保三郎(故人)、橋口正紀

## かお 遍歴

写真を見て行くと、橋口さんがおシャレにも気を遣う「ダンディー」だったということが分かります。日産ローレルとアスコットタイをカジュアルに着こなした姿はなかなかのセンスです。

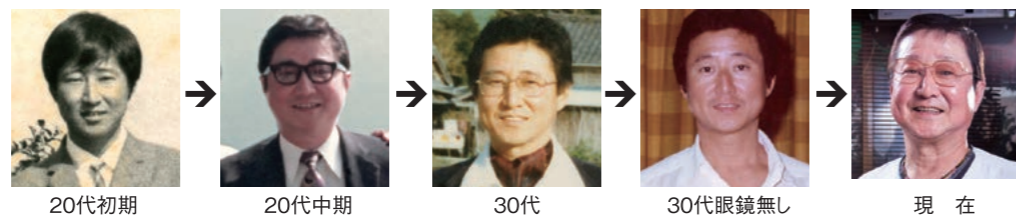
●写真提供／岩城 健氏(支部長)  
橋口正紀氏、下唐湊秀夫氏



自慢の愛車  
トヨタコロナ(昭和40年代)



日産ローレル(昭和50年代)



20代初期 → 20代中期 → 30代 → 30代眼鏡無し → 現在

～ライター紹介～  
ぐそくかずし (ペンネーム)

某テレビ系列新聞記者で、仕事の傍ら、鹿児島の埋もれた名所名跡などを訪ね取材、紀行文と独自の墨絵を使った創作活動を自身のブログを使って続ける。独特の視点、骨のある文章には定評がある。また多くの著名人に会う機会にも恵まれ、面白い逸話も多い。

て、身内の保証人になったら逃げられて、連帯保証人のため、銀行からは連日催促の嵐。仕方なくすべてを処分して、一時的に仮住まいを余儀なくされました。

**岩城** その頃ですね、川内のお店に勤めていらしたのよ。

**橋口** そうです。女房も鹿児島市内で働きながら、私は単身川内のホテルに住み込んで、年間辛抱しました。大学に通う子供と受験前の子供もいましたから、この頃が一番大変でしたな。

**岩城** ここ山川のお店「香花園」を開業された経緯は。

**橋口** 捨てる神あれば拾う神あり、女房の知り合いの縁で開業することが出来ました。

**岩城** ここ山川は周囲に畑が広がって環境抜群のところですね。

**橋口** こちらにきた当初、それまでの鹿児島市内では、桜島の「へ(灰)」に悩まされて...



夫婦でがむしゃらに働き、家庭を支えた(甥っ子達と共に撮影)

岩城 「倒れた」と聞いてから、回復力は早かったですね。

**橋口** 女房のお蔭です。とにかく気付くのが早かった。倒れる直前に、私の喋り方がおかしいと気付いて、すぐ病院へ行き即入院でした。医者から「あなたの命を繋ぐのは、まず水分補給ですよ。日に2リットルは飲みなさい」と云われて、今では、夜中も二時間おきに起きて、水分摂取は欠かせません。

**岩城** 香花園を閉店されると聞いていますが...まだまだやりたい気持ちがあるんじゃないですか？

**橋口** この仕事は、体が動く限り定年

れてきました。山川では、周囲の畑の堆肥に群がる「へ(灰)」に面喰らいましたね。お客様にお出しした料理を、出し直すことも度々ありましたよ(笑)。

でも、有り難いことに、風向明媚な土地柄、観光客や工事関係者の方々、わざわざ遠方からも来て下さり、程良く繁盛していました。お客様にも美味しさと喜んで頂けたのが、何よりも嬉しかったですね。

### 妻の支え、家族との絆

**岩城** 体調を壊したとお聞きしていますが...。

**橋口** 脳梗塞を患いました。働き尽き、水分補給を怠っていたんです。汗をかいたのが好きで、サウナに毎日のように2〜3時間入っていたのがよくなかった。手足のシビれる前兆があった時、病院で血液サラサラになる薬の投与も受けたんですが、「まだ自分は大丈夫」という過信から、薬も飲まずに過ごしていたのです。

橋口さんのお店「香花園」は11月30日をもって閉店しました。それと同時に橋口さんご自身も42年の長きに渡る中華料理人としての歴史の幕を閉じました。ホントに長い間おつかれさまでした。これからも末永くお元気でダンディーであり続けてください。

**岩城** このお店を畳むにあたって、奥様は何とおっしゃっていますか。

**橋口** 小さくても良いから、またお店をやりたいと云ってます。私も体が動く限り妻を手伝いながら、頑張ろうと思っています。

これはからの人生

**岩城** 香花園を閉めた後、どうされる予定ですか？

**橋口** 順風満帆の時代を過ぎて、いい時も悪い時もみてきました。自分の独断で、家族にいろいろと迷惑をかけたのが、女房と家族がいてくれたお陰で助かりました。この売却先が決まったら、故郷東市来に近い所へ、引っ越そうと思っています。



取材班が山川のお店に到着したのは、お昼過ぎのランチ時間を過ぎた頃。早速、橋口さんご夫妻より昼食の料理が振る舞われた。餃子、カルピ井、五目ラーメンと次々に出てきて、取材班は大いに舌鼓を打った。また、厨房での橋口さんは実に手際良く、動作が素早いので、手際の悪いカメラマンは調理風景の写真を撮るのがとても大変だった。





## 東洋大学総長、塩川正十郎氏が来鹿 鹿児島県支部幹事等と懇談

●懇談日／平成21年8月26日 水曜日  
●時間／9:00～10:30  
●場所／城山観光ホテル

本年8月26日、塩川総長が鹿児島を訪問、鹿児島県支部の幹事の皆と会いたいと急遽、懇談の場が設定されました。城山観光ホテルで鹿児島県財界の朝食会の後、支部校友の我々の為に一時間余りの貴重な時を割いてくださり、大学のこと、政界のこと、今回の選挙のことなどを熱く語られました。総長とこの様に懇談する機会のない地方校友にとって、総長が気軽に語りかけてくださるこの場が夢の様であり、いつまでも心に残る感激の一日となりました。



語り合うに従い熱気を帯びていった出水市長の渋谷氏と塩川総長。いろんな話題に華が咲きました。



どんな内容の話にも終始にこやかな表情で、落ち着いて受け答えして頂きました。流石に長年政界におられただけ、実に余裕に満ちた雰囲気を醸し出しておられ、それが周囲にも伝播し全体がリラックスしたムードになっていきました。



今回の支部会報からの新企画「発掘ザ校友」は現役バリバリで活躍している鹿児島県出身の校友を発掘し、皆さんに紹介するものです。その第一弾は山口健一郎さんです。山口さんは奄美市出身、母校経済学部を卒業し、現在はミュージシャン・脚本家として活躍しておられます。

### 介護という重いテーマをミュージカルでサクッと料理

■ストーリー(原作・脚本・作詞・作曲・編曲・音楽監督／山口健一郎)  
芸能界で長年活躍している大物タレント矢沢マリ子(中尾ミエ)。偶然出会った、車イスの少年と介護ヘルパーに「私にも車イスを押させて」と言うが、あっさり断られてしまう。「私を誰だと思っているの!」納得いかない彼女はマネージャー(松尾伴内)に理由を調べさせる。「あーあ。またいつもの気まぐれが始まった。」と嘆くも、彼女はすでに、形だけのボランティアは無意味だと感じていたのだ。「すぐに介護の現場へ行くわ。どうすれば障害者や高齢者に会えるの?」「じゃあ、いっそのこと介護ヘルパーになるのはどうですか。といっても資格が必要なので、学校に行かなくてはなりません。」面倒で諦めるだろうという算段だったが、子供の頃から芸能界で活躍し、ろくに学校へ行けなかったマリ子は、逆に喜んでしまった。こうして大物タレントが介護ヘルパーを目指すべく入学したのだが、そこでは……。大人と高齢者、障害者と健常者。親と子。男と女。そしてスター。ノーマライゼーションとはどういうことなのか。生きるということとは?死ぬということとは? 答えはあるのか。なくてもいいさ。ヘルパースは今日も行!



ヘルパースのサイトより引用  
今年11月22日、私こと西元は東京渋谷区初台の新国立劇場にこのミュージカルを観劇してきました。正直な話、観に行く前は母校の先輩に誘われても、介護というずっと重苦しい社会的なテーマとミュージカルという軽快なイメージがどうにも結びつかず、脚本と作曲・演奏を母校の後輩がやっているという一点に対する興味だけで行ったのです。でも、実際にミュージカルが始まるや否や、私はすっかりそのミュージカルにのめり込んでしまい、前篇1時間+後篇1時間の2時間があつという間に過ぎたのでした。それは満員客席からの拍手の大きさからして私だけの感想では無かった筈です。  
主演の中尾ミエさんや松尾伴内さんをはじめとする役者さん達の素晴らしい好演もさることながら、山口さんの脚本や音楽が素晴らしいから、ここまで面白くなったんだと感じ、改めて感心してしまいました。  
劇が終了後、直ぐに先輩と楽屋を訪ねまして山口さんと僕はお互いの顔を20年以上の時を経て確認しあつたのでした。今回のミュージカルに関しては、彼の身辺で起こった介護という現実が発端となったようです。そのため彼も仕事の傍ら介護ヘルパーの学校に通っているという学んだとのことでした。  
とにかく鹿児島出身の校友が素晴らしい活躍をしているということ、支部会員の皆様にも伝えたいと思えました。また彼自身も校友会を殆ど知らないという状況でしたので、これを機に支部会報等を送りたいと思っております。  
このミュージカル「ヘルパース」2010年度は地方公演も行うとのことで、奄美公演と共に鹿児島市内でも公演したいということでした。鹿児島県支部の方でも何らかの協力出来たらと思っております。

「発掘ザ校友」ではみなさんからのイキの良い情報を募集いたします。事務補佐・西元までご連絡ください。E-mail: deesaku@me.com 携帯メール可



東洋大学校友会 鹿児島県支部創立  
90周年記念 支部会報 Vol.4 特別版  
●表紙コンセプト  
旧大講堂正面入口のアーチの向こうに西田橋と朝日の上る桜島が見える。鹿児島に生まれ母校を卒業した校友には90年の歴史と伝統に思いを馳せる時、こんなイメージが心に交差しているのではないだろうか?そんなことを考えながら作った

発行／東洋大学校友会鹿児島県支部 平成21年12月吉日  
事務局／西村正一郎  
〒891-0141 鹿児島市谷山中央4-4956 Tel.099-267-4302  
○編集／岩城 健、西村 正一郎、西元 大作 ○印刷／瀬上印刷株式会社

### 編集後記

昨年暮れに配布しました支部会報、その反響(他県・本部含む)のすごさに、ただ驚くばかり。  
昨年は会報を作るにあたり念頭にあったのは…  
○次の総会に自分も参加したくなる様な斬新な会報  
○参加者全員の写真を網羅していつまでも手元においてもらえる様な会報…ということでした。思案・検討を重ねて出来上がった支部会報を皆様はどのように感じられたでしょうか?  
さて、今年は90周年の記念事業を開催しましたので、昨年よりもグレードアップ・ボリュームアップして中味の濃い会報作りを心がけました。  
10月24日波瀾万丈のモデル、橋口さんの香花園をスタッフと3人で訪問、取材・撮影を終え夕暮れせまる山川の田園風景が印象的でした。

支部会報を担当して2回目、90周年記念特別号を発刊することが出来ました。90周年ということで、昨年よりもっと充実した内容で、またボリュームもアップさせようと編集メンバー間で機度も語り合いました。印刷費などの値段交渉の結果、20ページまで増量出来、それにより部数も増やすことが出来ました。それで今回のみということで、普段支部総会にきていない会員、全く関与してこなかった校友の方々にも、支部の活動内容を告知するため特別に配布することになりました。配布の方は校友会本部の協力を仰ぐ予定ですが、必ず封を開けて頂く等の工夫をしようと思っております。  
これで支部総会に参加される会員が増えることを願っています。

編集長・渉外・ワープロ係／岩城 健

写真・デザイン担当／西元大作

### こんな「校友」を見つけちゃいました!

やま ぐち けん いち ろう  
ミュージシャン・脚本家 山口 健一郎 さん

鹿児島県奄美市(旧名瀬市)出身・東洋大学経済学部経済学科卒(S62)



プロフィール  
やまぐち けんいちろう  
山口 健一郎  
愛称／ヤマケン

鹿児島県奄美市(旧名瀬市)出身(1965年1月5日生)  
東洋大学経済学部経済学科卒(1986年)  
ペーパーストとして、数々のコンサート、ライブ、TV に出演。  
ミュージカル、ディナーショー等で脚本、編曲、構成を手掛ける。

- 原作・脚本・作詞・作曲・編曲・音楽監督  
○ヘルパース!～あなたがいる風景～(新国立劇場)  
○ラッキーカムカム～ミルクホルの二人 ○小千谷の森の月、他多数
- 作曲・編曲・音楽監督  
○松本零士と毛利衛の宇宙ロマン展「火星への旅」(日本科学未来館)○ミュージカル「HOP STEP TAP」(全国労音ツアー)○ミュージカル「私は私」(博品館劇場)、他多数
- その他の主な参加作品  
○「上を向いて歩こう」(新橋演舞場)  
○劇団四季 ○(秋) 夢から醒めた夢 ○(秋) ユタと不思議な仲間たち ○(海) マンマ・ミーア!  
○Shoes On!(俳優座劇場)  
○THE GUEST SHOW(博品館劇場)  
○名瀬市市制50周年記念イベント(鹿児島県)  
○奄美群島日本復帰50周年記念イベント(奄美パーク)

- 音楽監督(バンドマスター)  
○1996～現在、中尾ミエバンド ○2003～現在、モト冬樹バンド  
○2009～現在、3人娘(伊東ゆかり・中尾ミエ・園まり)バンド
- テレビ  
○テレビ東京 / 最高!ギグギナイト ○TBS / 東京音楽祭、旅・わくわく ○フジテレビ / 夜のヒットスタジオ デラックス ○日本テレビ / さんまのhappy X'mas ○テレビ朝日 / シリーズ・街、徹子の部屋30周年記念コンサート
- CD・DVD  
○MIKE G. / OFF WE GO ○きよこ / ホップ・ステップ・ダンス!  
○中尾ミエ / 団娘、Smile 01、私は私、可愛いBa～Ba  
○U字工事 / 北関東ナンバー1 ○益子卓郎(U字工事) / 男星  
○脱線3 / XXX JAPAN ○Hase -T- / おじょうさま、等

山口健一郎さんのブログ  
<http://blogs.yahoo.co.jp/amamiken65>



千九百一十一年  
鹿児島市下荒田四丁目十一番  
電話〇九九・二五四・三七九六

今井嘉彦  
(昭和三十八年 経済学部卒)

今井製麺所



黒糖サブレ こんがりとん

たしかな品を、よい素材で、誠実に

昭和製菓株式会社

庵薩摩

専務 有村貞輝 (昭和38年 経済学部卒)

七ツ島見学工場

〒891-0132 鹿児島市七ツ島1丁目1番22号  
TEL.099-262-2020 FAX.099-262-2100

政府登録・霧島国立公園

霧島山よホテル

呉竹山荘・桜林山荘

会長 松田浩明 (昭和38年 経済学部卒)

〒899-6603 鹿児島県霧島市牧園町高千穂3761番地  
Tel.0995-78-2711 Fax.0995-78-2132  
http://www.sanjo-hotel.co.jp

メッセージは風の音



産業廃棄物収集運搬・一般貨物・重量物運搬移動・建築資材販売

有馬運送株式会社

代表取締役 有馬泰祐 (昭和40年 経済学部卒)



〒891-0131 鹿児島市山谷港3-1-29  
TEL.099-261-3311 FAX.099-261-4188

大正八年創立

ESTABLISHED in 1919. TOYO UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION KAGOSHIMA



東洋大学校友会  
鹿児島県支部

創立90周年

鹿児島県支部創立90周年をお慶び申しあげ、今後益々の発展を祈念いたします。

平成21年12月吉日



市電・市バス広告、屋外ビジョン放送広告 代理店

株式会社 旭プラネット

代表取締役 岩城 健 (昭和40年 経済学部卒)

〒890-0054 鹿児島市荒田一丁目3番19号 Tel.099-251-3240 Fax.099-251-3227

新校舎完成

鹿児島高等学校

教頭 西村 正一郎 (昭和44年 文学部卒)

問い合わせ先 / 鹿児島市薬師一丁目21番9号 TEL.099-255-3211 (代)  
FAX.099-258-0080 URL:http://www.kagoshima-h.ed.jp/

機械警備・常駐警備・交通誘導警備・輸送警備



鹿児島県公安委員会認定 第58号

東洋警備株式会社

代表取締役 松下 健一 (昭和47年 法学部卒)



〒890-0046 鹿児島市西田三丁目10番25号  
TEL.099-253-7111 FAX.099-253-7155

URL http://www5.ocn.ne.jp/~toyo-sec/ E-mail: toyo-security@basil.ocn.ne.jp

ヨガインストラクター養成講座・受講生募集中!!



やさしいヨガ教室  
R プラナー ヨガ



YOGA インストラクター  
野村 涼子 (昭和45年 観光卒)

〒890-0014 鹿児島市草牟田2丁目59-11 Phone 099-226-8340

鹿児島県支部会報 制作担当

グラフィックデザイン  
Ducks Field  
ダックス フィールド

代表・制作  
西元 大作 (昭和60年 法学部卒)

〒890-0012 鹿児島市玉里町6-10-402  
Tel & Fax.099-226-8592 E-mail. deesaku@mc.com

パンフレット、名刺、チラシ等の  
紙媒体広告制作全般 及び  
写真撮影・ビデオ制作・Web制作

吹上温泉



細やかな人情と  
素朴な  
いで湯情緒に  
心ゆくまで  
おひたりにください

www.midorisou.com

〒899-3303 鹿児島県日置市吹上町吹上温泉  
TEL.099-296-2020 FAX.099-296-4920

代表取締役 池田 日道 (昭和63年観光卒)